

南山城の歴史ロマンとともに 「山背古道」を歩く シリーズ2

今回は、いよいよヤマト政権が全国へと勢力を拡張し、国としての様々な政治のしくみを整えながら律令国家への道を歩むとともに、大陸からの新たな文化の流れが人々の生活を大きく変化させていく、そんな律令国家が成立・展開していく時代の歴史文化について学びます。

ヤマト政権が成熟しながら律令国家を実現する過程で、南山城地方の豪族はどのような役割を果たしたのでしょうか。人々の生活はどのようなものだったのでしょうか。漢字や仏教はどのように受け入れられたのでしょうか。そしてそれらを裏付ける遺跡や文化財とはどのようなものがあるのでしょうか。「山背古道」を軸にしながら、様々な資料をもとに、楽しく、分かりやすく学ぶ講演会です。



井手町・万灯呂山から木津川の流れを望む

日時 平成 29 年 5 月 13 日(土) 13:30～15:45
主催 京都府立山城勤労者福社会館

会場 府立山城勤労者福社会館 第一会議室

講師 京都府立山城郷土資料館(ふるさとミュージアム山城) 主査 松尾史子 氏
・講義「南山城の歴史と文化」＜飛鳥時代から律令国家の崩壊まで＞
・質疑応答

資料代 1 名 300 円 (当日受付)

申込先 府立山城勤労者福社会館 電話 0774-82-3639 FAX 82-3762

申込 ・方法 電話、FAX(住所・氏名・電話番号)又は来館による 〈9:00～21:30〉
・締切 平成 29 年 5 月 10 日(水)

やまきん・京都府立山城勤労者福社会館

電話 0774-82-3639 FAX 0774-82-3762

住所 京都府綴喜郡井手町大字井手小字大塚 99-35

・アクセス :山城大橋から車で約7分 :JR玉水駅から徒歩約20分 :近鉄三山木駅からタクシーで約10分